【別紙様式】

学力向上に効果のある取組事例

中津市立小楠小学校

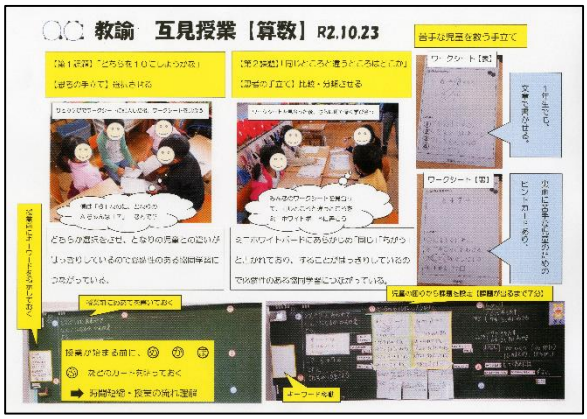
⑰校内研修などによる授業改善

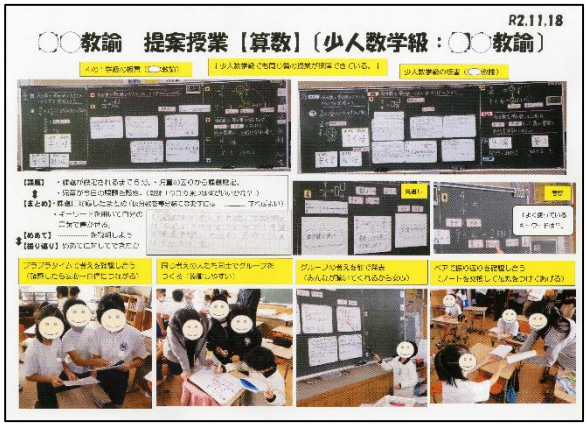
積み重ねのある提案授業・互見授業

〇提案授業で出された課題を互見授業でチャレンジ
【チャレンジした例】
・協働学習の時間確保のため「課題」が出るまで7分
・キーワードを意識させて「見通し」と「考察」
・キーワードを使って子どもに「まとめ」をさせる。
・「ふりかえり」は①わかったこと・できるようになったこと ②友だちとの学びから気づいたこと ③今後やってみたいこと の中から書かせる。
・本時の主眼に「思考の手立て」を書く。

〇互見授業・提案授業のまとめを視覚化し全職員に配布・掲示（右写真参照）

〇事務所訪問の略案づくりで授業の腕を磨く
・学年主任が中心になって略案を作成⇒研究主任に提出⇒教務主任に提出⇒教頭に提出
・1学期は学年共通の指導案づくりで初任者等に指導
・2学期は個人で作成





校内研究と連動した授業観察

〇校長による授業観察
【校内研究の内容】（みんな活躍型授業を推進）
（1）自分の思いを表現するための手立ての工夫
（2）学びを深めるためのペア・グループ活動の充実
【授業観察の視点を明確化】
（1）課題が出るまで7分以内
（2）キーワードの移動（→見通し→考察→まとめ）
（3）ホワイトボード使用
（4）めあて、問題、課題、見通し、（一人学び）、（協働学習）、考察、まとめ、振り返り
（5）思考の手立て
・選択・理由・序列・分類・条件付け・比較・関連付け等

〇授業観察のまとめを視覚化し配布（右写真参照）
・PC内のまとめシートの課題をクリックすれば、授業者の板書が見られる。

〇「見える化ボード」に事務所訪問等の板書写真掲示